

ジェイアールバス東北本部

第7号

2021年9月30日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申
2
号

「JR東労組バス東北本部第34回定期委員会の 発言に基づく申し入れ」について団体交渉を行う！①

バス東北本部は、9月27日に申2号「JR東労組バス東北本部第34回定期委員会の発言に基づく申し入れ」について団体交渉を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

1. 白沢・七北田の両受託事業所の要員不足が深刻であることから対策を明らかにすること。

(組合) 白沢・七北田事業所の要員不足が深刻な状況であり、他箇所からの転勤・助勤で何とか対応しているが、会社の考えを明らかにすること。

(会社) 七北田事業所に関しては、間違いなく要員が少ない状況であるが白沢事業所については、七北田への助勤や怪我による長期離脱などの対応もあるが、要員的にそこまで足りない状況ではない。今のところ3名の中途採用の予定があり、更に3名募集をしており、それで七北田の要員不足は解消すると考えているが読めないのは退職者である。

(組合) 白沢・七北田事業所のダイヤ減については、応急的な措置で要員不足が解消すれば元に戻すのか。

(会社) ダイヤ減に関しては来年の3月までの限定的な措置である。今後ダイヤ改正を含めて考えていきながら要員を確保し、来年4月までには七北田を適正要員にしていきたい。

2. 労働条件を向上することにより人材流出を防ぐため、年間休日数を増やすこと。
また受託事業所については受託加給の増額をすること。

(組合) 定期昇給カットや夏季手当の減額に対して、受託事業所の組合員はコロナ感染のリスクを抱えながら休むことなく乗務してきたこともあり、非常に不満を持っている。都市部受託加給の増額を検討すること。

(会社) 現在の会社の経営状況から賃金を上げることは難しい。会社を持続的に経営するため経費削減に力を入れている状況であり、受託加給の増額については現行通りとしか今は答えられない。御理解頂きたい。

(組合) 年間休日数については、これまで104日に近づけるよう何度も議論し、少しずつ改善はしているが、まだまだ不十分であり人材流失を防ぐためにも休日数を増やすこと。

(会社) 休日数は確かに他社と比べ数字的に少ないが、今の状態では増やせない。現状の要員では現行通りお願いしたい。

3. ダイヤの作成については、職場の意見を取り入れ、安全と健康を第一に考えて作成すること。

(組合) 現場意見を取り入れないダイヤ作成に対して不満が出ており、普段乗務している社員の意見を聞かなければ重大事故に繋がる恐れがある。経営状況を考えれば効率化施策を否定する訳ではないが、安全と健康を第一に考えていくべきである。

(会社) 現場の意見を聞いているつもりだが、コロナ禍において昨年から今年にかけてスピード感を持って取り組んできたことが、不安を抱かせてしまっていると考えている。将来に向けて経費の面もあるなかで見極めながら新しいダイヤを作成していこうと考えており、その際には現場意見を求めながらやっていきたい。